

関係者各位

数学教育学会夏季研究会（関東エリア）実行員会  
委員長 守屋誠司，副委員長 森園子  
加藤卓，中込雄治，植野義明

### 2014年度数学教育学会夏季研究会(関東エリア)プログラム

1. 日 時 7月12日(土) 10:00 ~ 17:00 (受付 9:30 ~ 14:30)
2. 場 所 拓殖大学文京キャンパス C館6Fの604室  
地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車，徒歩5分
3. 内 容
  - (1) 10:00 ~ 12:00 研究発表
    1. 「大学初年度の微積分の授業実践～合成関数の微分法、逆関数の微分法」  
鈴木桜子（お茶の水女子大学）
    2. 「線形と非線形を考える」  
大枝一男（元日本女子大学）
    3. 「変容期に応ずる数学教育を江戸の学び合いから捉え直す試み」  
町田彰一郎（元埼玉大学）
    4. 「近未来の教育（数学）を考える－数学教育の置かれている状況は－」  
河合博一（元駿台甲府高校，KMI代表）
  - (2) 12:00 ~ 13:00 昼食
  - (3) 13:00 ~ 14:00 研究発表
    5. 「楽しい授業方法を求めて」  
渡辺 信（生涯学習数学研究所）
    6. 「子ども教育学科における数学教育の現状と課題」  
後藤 学（相模女子大学）
  - (4) 14:00 ~ 14:10 休憩
  - (5) 14:10 ~ 17:00 オーガナイズセッション  
テーマ「就職希望者，非理系の進学者のための中学校・高等学校の数学教育を考える」  
オーガナイザー：守屋誠司（玉川大学）  
指定発表者：中込雄治（宮城学院女子大学教授）「高等学校における職業教育の課題」  
高須敏江（山梨県北杜高等学校教諭）「高等学校における職業教育の実際」  
松田重生（富山工業高等専門学校元教授）「中小企業が望む数学力」  
森 園子（拓殖大学教授）「文系学部(経済・ビジネス)における数理的内容」  
富永順一（玉川大学教授）「ドイツの中等教育から」  
植野義明（東京工芸大学准教授）「フランスの中等学校から」
4. その他
  - (1) 参加費 1000円 学生500円（研究会発表論文集代，郵送料等）
  - (2) 発表原稿は当日 50部をご用意ください。なお，研究会後に研究会発表論文集を作成しますので論文集用の原稿原本を1部ご持参ください。原稿原本のフォーマットは年会・例会発表論文集フォーマットに準拠し，ページ数は偶数枚になるようにしてください。
5. 問い合わせ先  
玉川大学 守屋誠司 E-mail smoriya@edu.tamagawa.ac.jp